

Yunchan Lim Piano Recital

世界を震撼させた人気ピアニスト
ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール優勝

イム・ユンチャン ピアノ・リサイタル

Program

シューベルト:

ピアノ・ソナタ 第17番 二長調 D850 《ガスタイナー》

スクリャーピン:

ピアノ・ソナタ 第2番 嬰ト短調 op.19 《ソナタ・ファンタジー》

ピアノ・ソナタ 第3番 嬰ヘ短調 op.23

ピアノ・ソナタ 第4番 嬰ヘ長調 op.30

2026 **4.11** (土) 14:00開演 (13:00開場)
全席指定 8,000円(税込)

プレイガイド

- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall> [Lコード: 54955]
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 309-827]

ザ・シンフォニーホール

主催: ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 (火曜定休)
<https://www.symphonycenter.jp>

詳細はこちら



※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

イム・ユンチャン

ピアノ・リサイタル

ステージに現れ、ピアノに歩み寄ると、客席に笑顔を振りまくわけでもなく手早くお辞儀をすませ、すぐさま弾き始める。ピアニストが瞬間的に音楽に没頭すると、それに牽引されるように、聴衆もその作曲家の世界に入り込んでゆく。イム・ユンチャンのリサイタルは、いつもこのようにして始まる。

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにおいて史上最年少の18歳でセンセーショナルな優勝を果たしたのが、2022年。韓国での人気が沸騰していると聞いて、多忙すぎる演奏活動で若者の心身がすり減ることへの危惧を感じた音楽ファンもいるかもしれないが、その心配は杞憂のようだ。ユンチャンは、自身を高みに導く新たなレパートリーに次々取り組み、堅実な演奏活動を継続。盤石かつ華やかなピアニズムと深遠な表現により、世界各地で聴衆を魅了している。

今回のプログラムには、シューベルトとスクリャービンのピアノ・ソナタが並んだ。音楽の美のなかに内向的なものを強く感じるシューベルトと、一筋縄でいかない複雑さを持つスクリャービン。どちらもユンチャンに似合うことは、容易に想像がつく。彼ならではののみずみずしい音、重くキレのよいタッチ、ストーリーの構成力で、どんなふうに二人の作曲家の世界を描き分けるのだろうか。

文：高坂 はる香

[ピアノ] イム・ユンチャン Yunchan Lim

2022年第16回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにおいて、史上最年少(18歳)でゴールド・メダルを受賞、併せて聴衆賞、最優秀新曲演奏賞を受賞。決勝で演奏したラフマニノフのピアノ協奏曲第3番は、コンクールの中で最も話題を呼んだ。その演奏動画はYouTubeを介し世界中で1700万回以上視聴され、アップされた同曲の中で最も多い視聴回数を誇る。2025/26年シーズンのハイライトには、フィラデルフィア管弦楽団、シュターツカペレ・ドレスデン、サンタ・チェチーリア管、コンセルトヘボウ、ゲヴァントハウス管とのオーケストラ・デビューが予定されており、ニューヨーク・フィル、ロサンゼルス・フィル、ボストン響、シカゴ響、パリ管への再登場も控えている。リサイタルはロサンゼルス、シカゴ、ボストン、カーネギーホール、ウイグモア・ホールなどで予定。イム・ユンチャンはデッカ・クラシックスの専属アーティストとしても注目されており、スタジオ・デビュー盤(ショパン 練習曲集作品10&25)は韓国でトリプル・プラチナを達成、世界各国のクラシック・チャートでも1位を獲得。2024年には「グラモフォン・アワード ピアノ部門」を受賞、「ヤング・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」、仏「ディアバゾン・ドール・ドゥ・ラネ」、ドイツ「オーバス・クラシック」へのノミネート、そして「BBCミュージック・マガジン・アワード」では史上初の3冠(年間最優秀録音賞含む)を達成した。2024年1月よりアップル・ミュージック・クラシカル・グローバル・アンバサダーを務めている。韓国の始興市生まれ。7歳でピアノを始め、翌年にソウル・アーツ・センターの音楽アカデミーに入学。13歳で韓国芸術英才教育院のオーディションに合格し、教師・指導者のソン・ミンスに出会う。韓国国立芸術大学の2年を修了し、現在はニューイングランド音楽院でソン・ミンスの下で学んでいる。



©Shin-joong Kim/MOC

シャルル・リシャール＝ アムラン

ピアノ・リサイタル

2026 **4.26** (日) 14:00開演 (13:00開場)
全席指定 6,000円(税込)

2015年ショパン国際ピアノ・コンクール第2位

